

事業概要書

1. 対象国名：

ベトナム社会主義共和国

2. 事業名：

病院内の体系的な看護師・助産師教育プログラム導入プロジェクト

3. 事業の背景と必要性：

ベトナム中部の中心都市であるダナン市は、出生率が高く、かつ流入人口が多いため、人口増加率が全国平均を上回り、医療分野においては産婦人科・小児科の需要が大きい。ダナン市では2011年4月、ダナン市総合病院の産婦人科と小児科を分離・拡張して、ダナン市総合病院産婦人科・小児科センターを設置し、このような需要に対処している。今後、院内での体系的な看護師・助産師教育プログラムを整備し、キャリアに応じた看護教育を実践することにより、看護師・助産師の知識・技術の向上を図ることが急務となっている。

4. 事業の目的：

ダナン市総合病院産婦人科・小児科センターの看護師・助産師の知識・技術が向上する。

5. 対象地域：

ダナン市総合病院産婦人科・小児科センター

6. 受益者層：

ダナン市総合病院産婦人科・小児科センターの看護師・助産師等の医療スタッフ及び来院患者。

7. 期待される成果：

1. ダナン市との協働により、看護師・助産師の知識・技術の向上に必要な基盤が整備される。
2. ダナン市総合病院産婦人科・小児科センターで体系的な職場研修の実施体制が確立される。
3. ダナン市総合病院産婦人科・小児科センターで体系的な院内看護教育が実施される。
4. ダナン市のプロジェクト実行委員会による効果的な検証、指導が行われる。
5. ダナン市総合病院産婦人科・小児科センターがモデルとなって成果を普及するための準備が整う。

8. 各活動：

1. プロジェクト実行委員会の設立

ダナン市外務局、保健局、ダナン市総合病院及びダナン市総合病院産婦人科・小児科センターの4機関の代表で構成するプロジェクト実行委員会を設立する。事務局はダナン市総合病院産婦人科・小児科センターが担う。プロジェクト実行委員会は、本プロジェクトに対する必要な指導や助言、効

果測定のためのモニタリングの実施及び本プロジェクトの成果普及のための報告書の作成等を行う。実行委員会のメンバーは、ダナン市人民委員会の議長または副議長から任命されなければならない。

2. プロジェクトチームの設立

本プロジェクト推進のため、ダナン市総合病院産婦人科・小児科センター内に、プロジェクトチームを設立する。構成員はセンター長、副センター長2名、総合計画部長、人事部長、産婦人科・看護師長及び小児科・看護師長の7名とし、センター長がリーダーを務める。

3. 専門家の派遣

看護師、助産師、大学教官等から成る専門家をダナン市に派遣し、ダナン市総合病院産婦人科・小児科センターにおける体系的な職場研修の実施に向けた体制づくり、計画策定、研修プログラム作成等への指導・助言等の支援を行なう。

(1) 派遣期間：年3回、各7日間（出入国日を含む）

(2) 派遣人数：5名/回

派遣期間及び派遣人数については、プロジェクトの進捗状況等に応じて変更する場合がある。

4. 研修員の受入れ

ダナン市総合病院産婦人科・小児科センターの看護師・助産師を研修員として受け入れ、神戸市立医療センター西市民病院、神戸市看護大学等で研修を行い、帰国後、同僚、後輩の指導にあたるチームリーダーとして人材育成する。

(1) 受入期間：年2回、各10日間（出入国日を含む）

(2) 受入人数：6名/回

受入期間及び受入人数については、プロジェクトの進捗状況等に応じて変更する場合がある。

9. 実施期間：

平成24年4月 ～ 平成27年3月

10. 実施機関：

(日本側)：公益財団法人 神戸国際協力交流センター

(ベトナム側)：ダナン市総合病院産婦人科・小児科センター